

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成26年4月25日 NO.4

谷保国立歴史文化学習

4月24日（木）6年1組の児童35名と共に、谷保天満宮に行ってきました。まず、学習カードに従い、菅原道真公クイズを実施。以前『国立てくてく』でお知らせした復習だったので、皆ほとんど正解していたようです。次に谷保天神の森に入りました。林内は鬱蒼としておりましたが、この森は東京都の天然記念物にも指定されている森で、大変貴重なものです。その後、「常磐の清水」に行き、ハケ下からの湧き水を見学。縄文時代より、人々がこのハケ下を利用して生活している様子を想像したり、谷保地域の時代の流れを学ぶことができました。

地域は児童にとって、生きた教材であると常々思っております。児童が始めに社会とふれ合い接するのが地域であり、その場所には必ず自然や人々が関わってきた文化や歴史が存在します。

この学習は、高学年を対象としたものでありますが、地域を学ぶ意義は大変大きいと感じています。休日などに、ご家族で地域を歩き、その自然や文化・歴史を散策するのも楽しいのではないかと思います。



『春の花』検定会

校長室のとなりの部屋・・・「モンタ博士ラボラトリー」、またの名を「第七小学校ふるさと学習室」と命名しましたが、今、その部屋が熱い！昼休みになると、たくさん子ども達が訪れて、『春の花』の検定試験の真っ最中です。植物は名前がわかると、お友達になった気分でお散歩していることが楽しくなったり、花や葉などの観察ができたり、自然の事物や現象にたいして、科学的な見方や考え方が身についていきます。

4月21日の朝会でもお話しましたが、一人でも多くの児童が検定を楽しんでほしいと願っています。検定試験の植物は『国立てくてく』のNO.6にもありますが、校長室前に、検定試験学習用のA4版の紙も用意しました。

草花との出会いや、名前に親しみ、努力することへの励ましをしていただければ、大変嬉しく思います。よろしく願いいたします。

